

あいあいあい

I eye 愛

2023年
7月号



5月19日 配送職員らを対象とした新マヨネーズ学習会 (前列中央でマヨネーズを持っているのが俵丸和油脂の石塚さんと金(こん)さん)

これからも「あいシテル」のマヨネーズを
よろしくお願いします

理事 藤田 紀子



あいコープには数々のPB商品があります。PB商品とは組合員・生産者・職員が共同開発した商品のことで、この三者はそれぞれの立場から商品に対する共通の想いを持っていきます。あいコープは決して大きな生協ではありませんが、だからこそ生産者と直に心を通わせたやり取りができる。そして組合員がPB商品をしっかりと利用し続けること、生産者が作り続けられることなのです。

しまなど友好生協と共に会議を重ね、20回もの試作を繰り返して再開発に至りました。

今回、PBマヨネーズがリニューアルしたのは製造メーカーが変更になったから。しかし、約30年前の開発以来PBマヨネーズを使っている組合員が望んだのは「これまでのマヨネーズと大きく変わらない味で」ということでした。主原料は希少な非遺伝子組み換え菜種油と、花兄園の花たまごの全卵。しかも安全安心なものを食べ続けたい。このこだわりに応じてくれたのは決して大量とは言えない私たちのPBマヨネーズの製造に向き合ってくれる生産者「丸和油脂(株)」でした。検討開始から約1年。花兄園やあいコープふく

私が理事として担当しているしおさい地区委員会は、PBマヨネーズについて昨年から学習を続けてきました。私はそのご縁で、今年の2月、組合員の代表メンバーとしてマヨネーズ工場を訪れました。良質な材料がシンプルかつ分かりやすい工程で丁寧に作られるのを知り感激。見学後、工場隣の事務所で最後に試食し選んだものが商品に決まりました。責任重大の気持ちもありましたが、それよりリニューアルに携われたことが嬉しく誇りに思えます。

ちよっぴり小ぶりでかわいいマヨネーズ。私はいつものように常備し使う度に「これ、ママたちが作ったんだよ!」と自慢しています。私たちの願いを叶えてくれた生産者と共にPBマヨネーズを永く育てていけるよう、これからも組合員みんなで利用していきます。

CONTENTS

- ▶「石けん運動そもそぼなし」第4回 ……2
- ▶生産者も石けん運動 ……4-5
- ▶節約アクション報告 ……7
- ▶バケツ稲 各家庭で育てています ……3
- ▶しおさい地区 presents マヨネーズメニュー ……6
- ▶てづくりおいしい【バスちゃん牛乳かん】 ……8

石けん運動 そもそも ばなし

連載第4回



石けん派生協としての
思いを繋ぐシャボン玉フォーラム
吉野 むつさん
(元 あいコープみやぎ理事)

シャボン玉フォーラムは石けんを入口にして、いろいろな環境問題を考える場です。

2005年の開催時、私が担当した第一分科会では、前半は、仙台市中心部を流れる七北田川の水源域に産業廃棄物中間処理施設をかかえてしまった地域住民の方から「冠川水源を慕う会」を立ち上げ、業者、行政に働きかけをしてきたことの経過報告と今後の課題についてお話をしていたいただきました。後半は、全国からお越しの参加者から、各地の水環境、水保全の活動報告をしていただき、活発な意見交換がなされました。

合成洗剤の問題も、産廃や原発問題も、切り口は違っても循環していく構造は同じで、巡り巡って自分たちの生活に降りかかってくるようなのだと思います。だからこそ、行政任せにせず、石けん派生協として自分たちの目、耳、知恵、五感すべてを使って行動をおこしていかなければならないとの思いを新たにしたいのを覚えています。

張り詰めたような緊張感の中にも、共感しうとする一体感が生まれていたのは、志を持つ者どうしのいたわり、思いやりを感じました。2023年のシャボン玉フォーラムでも、たくさんのお出合いがありますように！



1999年のあいコープのトラック
シャボン玉月間のマスクをつけている



当時のパンフレット
(2005年シャボン玉フォーラム)

新工場の建設が決定！ リサイクル石けん「さいかち」

さいかちとはマメ科の植物で、さやに「サポニン」という石けんのよう

な成分を含むため、かつては石けんの代わりに油污れを落とすのに使われた植物です。この「さいかち」の名を持つリサイクル石けんは、長年あいコープ組合員を中心に利用されてきました。社会福祉法人「みんなの輪」の事業所で、職員さんと障がいを持つ利用者さんが共に作ってきた石けんです。「おとうふ揚げ」など練り物を作る高橋徳治商店や、事業所周辺の飲食店の使用済み食用油を、加熱して苛性ソーダを入れることで石けんにし、粉碎、袋詰め。この作業はこれまで、仙台市青葉区の「わ・は・わ広瀬」で行われてきました。

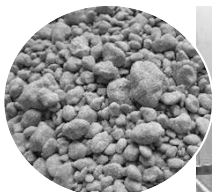
施設の老朽化によって新築計画が持ち上がり、それに伴う行政手続きの中で、この土地では製造を続けられない事実が判明。困ったのはみんなの輪だけではありませんでした。さいかちは、①石けん派生協であり②リサイクルを推進する生協であり③地域福祉を大切にする生協であるあいコープの、どの切り口から見ても大切な商品だからです。

製造中止の報告を受け、あいコープ理事会はみんなの輪へ製造を継続して欲しい意志を伝えました。同時に別の事業所内での工場建設計画と費用捻出を検討し、6月の総代会でついに建設が決定しました。

費用は「ジョイケア基金」から準備することとしました。地域福祉に役立terるという目的を果たすことのできる有意義な使い道であると考えます。また、組合員みなでこの石けんの製造を支えるため、カンパも継続中です。(下欄に掲載)

今秋、新工場で利用者さんが製造できることが目標。あいあいあいでも今後も進捗を報告していきます。

理事 鈴木 真奈美



粉碎する前の
石けんの塊



大きな釜で
使用済み油を加熱し製造
(2020年撮影)



さいかち

さいかち新工場建設費応援金(カンパ) 受付期間…6月2回~9月4回注文書
注文番号 000845(1口300円) 222845(1口300ポイント)

おうちでお米を育ててみよう

「バケツ稲選手権」

今年で5回目となった「バケツ稲選手権」。今年は過去最多、26家族・46バケツのお申し込みがありました。久しぶりの対面でのオリエンテーションに、交流産地であるはさま自然村の生産者、菅原達徳さんも気合が入ります。

いよいよオリエンテーションスタート。はさま自然村の紹介、米づくりの1年の流れを学んだあとは、グループに分かれて、種もみの「塩水選」の実験です。塩水選は絶対にしなければならない作業ではないけれど、お米がたくさん実るようになり、より良い種もみを選別するための大事な作業だそうです。また、選別後には、病気を防ぐために、お湯に一定時間つけておく「温湯消毒」をします。農薬での消毒方法もありますが、あいこっポの



実演する達徳さん。
子どもたちも興味津々！

生産者は環境にも私たちにも優しいやり方で行っているそうです。田植えの苗ができるその前の前にもたくさん見えてこない作業があることを学ぶことができました。

最後は外へ出て、田植えのやり方を学びます。実際には各家庭に戻ってからの田植え。菅原さんの説明を聞きながら、早くやつてみたい気持ちの参加者のみなさん。ウキウキしながらバケツ稲キットを持ち帰り、さっそく田植えしました！の報告が次々と聞こえました。

これから秋までの約半年間、小さな自分だけの田んぼに愛情をそそぎつつ、これまで意識してこなかった田んぼの風景の変化や、生産者へも思いをめぐらせることができたらし。栽培の楽しみプラス一つでも二つでも感じることが多くあるバケツ稲選手権にしていきたいと思います。

理事 原子良恵



今はまだ頼りない苗たち。
秋まで成長を見守っていきます。

やさしい未来のための「生活雑貨」の選び方

5/26 石けん環境委員会主催・環境学習会 27名参加

「人・社会・環境・地球」に優しい製品を企画・販売する(有)生活アートクラブ代表の富士村夏樹氏をお招きし、取り扱い製品のこだわりや、なぜ今「エンカル消費」が大切なのか、実態を交えてお話いただきました。

SDGsの土台である「健全な地球環境」を守るには、私たち消費者一人一人が購入する製品の環境への影響や、廃棄されたその後の実態を知った上で、製品を選択する必要があります。その行動が企業や社会の方向性の変革を促していきます。やさしい製品を選ぶと、やさしい未来がつかられ、その逆も然りです。

生活アートクラブさんはやさしい未来をつくるための提案として製品



ビニールバッグのようですが、
驚きのプラスチック0%！

設計をされています。今回は3年ぶりの対面セミナーで、実際に製品に触れ、感触や香りからその魅力を感じられる機会となりました。生活アートクラブさんの製品は「エコデパ」チラシでご覧いただけます。やさしい未来をつくるための選択は何か？何ができるのか。皆さんも今一度、考えてみていただきたいです。

石けん環境委員 小田原 裕子



「エコデパ」で取り扱っている商品に
実際に触れてみる参加者



(有)生活アートクラブ
代表取締役
富士村夏樹氏

7月 は シャボン玉月間 いつまでもきれいな雨が降るように

私たちが流した生活排水は やがて海に流れつき
雲になって雨になって また私たちに降り注ぎます
循環し続ける“水”のこと 考えてみませんか



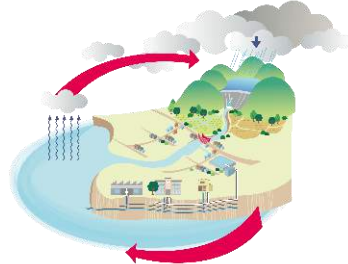
あいコープも加盟する「せっけん運動ネットワーク」では毎年7月をシャボン玉月間と定め、石けん生活の推進活動を行っている

突然ですが、あなたは「石けん派」？

食器を洗う、服を洗う、髪を洗う。生活の中で「洗剤」を使うシーンはたくさんありますね。その「洗剤」をどのように選んでいますか？汚れが素早く落ちるから…よい香りがするから…コスパがいいから…肌に優しいから…。色々な商品がありますから、選ぶ理由も色々ですね。

あいコープの商品カタログ「まんま通信」には「石けん」と「石けんを主成分とする洗剤」しか掲載されていません。化学合成洗剤が、スーパーで競い合いながら陳列され、テレビCMでは魔法のように油汚れが落ちる便利さを謳っているのに、あいコープはなんて頑ななのでしょう。

理由はとてもシンプル。食器を洗い服を洗い髪を洗って流した水は、また雨になって私たちに戻ってくるから。海に流れて有害化学物質になってしまう化学合成洗剤に、あいコープはNOと言いつけるのです。



「洗剤」は汚れを落とすものの総称。「石けん」は動植物の脂肪とアルカリ成分などでできたもの、「化学合成洗剤」は石油由来の化学製品を指します。

「石けん派」からのメッセージ



環境に優しい「石けん」は、人にも優しいもの。特に肌が弱い方には、化学合成洗剤の刺激ははっきりとわかるそうです。あいコープの農産生産者、大郷みどり会の西塚忠樹さんも石けんユーザーのひとり。



西塚忠樹さんと息子さん（1歳）

小さい頃肌が弱かった私ですが、息子も私に似たのか、肌トラブル多め体質。保湿や衣類の素材選びのほかに、気にしているのが洗濯の洗剤です。化学合成洗剤は肌に刺激があることを考え、洗濯用石けんを使っています。農業機械の油で汚れた私の作業着は専用洗剤を使わざるを得ないので、息子の洗濯物とは一緒に洗いません。作業着と子どもの衣類を分けて洗うことに妻も理解をしてくれていて、夜に洗濯機を回す我が家ですが、大人用の作業着を干す係と、子どもの洗濯物を干す係の二班にわけて、寝る前の家事を分担しています。

西塚忠樹

生活の中で地球に還す ～江戸後期から続く味噌醤油工場の取り組み～

あいコープの国産丸大豆醤油などのガラスびんがデポジット（生協に返却すると20円が戻る）のリユースびんであることは、組合員の皆さんはご存知のことと思います。この仕組みももちろん環境に配慮したのですが、今回はその「洗浄作業」に関する興味深い取り組みがあると聞いて、遠田郡美里町の鎌田醤油㈱にお邪魔しました。



組合員が生協に返却した空きびんは、トラックで鎌田醤油の工場に戻り、洗浄後再び製品が充填されます。工場内には洗びん場があり、ここで苛性ソーダ（石けんを作る材料の一つでもあるアルカリ性物質）のみを洗浄剤として熱湯で洗浄します。



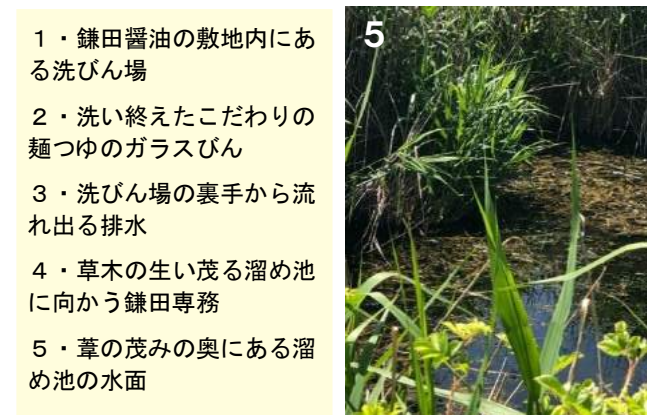
鎌田醤油株式会社
専務 鎌田雅敬さん

鎌田醤油ではガラスびんだけでなく、醤油や味噌の製造タンクなども合成洗剤を使うことなく洗っています。排出する水は自然に還すことができるので、敷地に埋められた配水管を通して工場裏の木立の奥にある溜め池に流されます。「さながら鎌田ビオトープかな！…そんな立派なものじゃないけど」と謙遜する鎌田専務。

水辺に生い茂る葦や萱が呼吸し、微生物の棲み処となり、流れ込んだ排水を浄化。同時に虫や鳥の棲み処ともなり、生態系が出来ます。「生き物が暮らせる水」だけを流し込んでいるからこの営みが存在するのです。溜め池で自然の力で浄化された水は、地域の用水路に溢れ出し、川から海へと流れていくのでしょう。

「昔は地域に小さな浄水場があったけれど、今は一極集中し大規模化して、人々が意識をしなくなりました。目の前から消えれば排水がどう処理されているのかわからず、なんでもかんでも流してしまう。生活の中で地球に還すのが日本の文化でもある。鎌田醤油ではできるだけ、自分たちで処理できるものはしたいなって、そう思っています。」と鎌田専務はビオトープの前で語ってくれました。

食品工場では工程や品質管理上、石けんのような環境に無害なものだけを使うのが難しい場合もありますが、このような取り組みを取材して、私たち個人の暮らしでは何ができるかな？とあらためて考えるきっかけになりました。



- 1・鎌田醤油の敷地内にある洗びん場
- 2・洗い終えたこだわりの麵つゆのガラスびん
- 3・洗びん場の裏手から流れ出る排水
- 4・草木の生い茂る溜め池に向かう鎌田専務
- 5・葦の茂みの奥にある溜め池の水面

みんなが裏庭にビオトープを作れなくても「この水が海に行き、また戻ってくるんだ」と考える。
何を選び、どう使うか。環境負荷の少ない石けんを選んで【みんなのところにビオトープ】。

6/10 戦争させない！宮城県民大集会

6月10日、県民800人が錦町公園に集結し、安保関連3文書に反対する「戦争させない！STOP！大軍拡・大増税・改憲発議～6.10宮城県民大集会～」が開かれました。

会場では、今の政治における戦争が出来る国造りへの危機感が高まる中、憲法九条を守り、平和外交が鍵になることを共有しました。この会場参加者以外の人々に関心を高めてもらうことが大切です。アピール行進では、「変えよう政治！守るぞ！いのち・くらし・ふるさと」を合言葉に仙台の中心街をあいコープの仲間と共に旗を掲げ練り歩きました。

理事長 高橋 千佳



参加するあいコープ組合員

6/17【ノーモア沖縄戦！】「台湾有事」と原発政策を考える学習会

日中交流の最前線で活躍されている泉川友樹弁護士より、中国とはこれまでも平和の為の対話や外交が行われているという事を説明頂きました。また、「女川から未来を考える会」代表の阿部美紀子さんより原発の温排水（冷却に使う海水）の排出問題や、原発は軍事標的の対象となる危険がある事を説明頂きました。

歴史や事実、データに基づき説明くださったお二人の話に共通していたのは、事実即ち報道がされていないという事でした。

平和に繋がるのは、「軍事化」や「突き進む」事ではなく、歴史や事実を耳を傾け、「対話」や「学び見極める目や心を持つ」事だと感じました。

脱原発エネルギーシフト委員 萩原 晃世



会場とオンラインで
103名の参加があった



【豚の生姜焼き】

≪豚薄切り肉 300g に対し≫

*タレ(おろし生姜大さじ1、マヨネーズ・酒各大さじ 1、
醤油・みりん各大さじ 2)

【マヨきんぴら】

≪千切り野菜(ごぼう 160g、人参 200g)に対し≫

*マヨネーズ大さじ 2、醤油大さじ 1、いりごま少々

★フライパンを熱し、マヨネーズと野菜を一緒に入れて
マヨの油で炒めるのがミソ！

※しおさい地区主催企画のレシピより抜粋



マヨネーズ活用レシピ♪

もう試しましたか？新・PBマヨネーズ

しおさい地区委員会
プレゼント



食育コンダクターさんの実演に
「さっそく家で試してみたい！」という
参加者が続出しました♪

少し小さくなって手に取りやすくな
った新・PBマヨネーズ。従来と同じく、
花たまごの全卵と非遺伝子組み換え菜
種油、酢、塩、砂糖、香辛料のみのシン
プルな原材料で、活用方法はサラダやお
好み焼きにとどまりません！
昨年度しおさい地区で開催した「マヨ
ネーズ活用企画」で大好評だったメニ
ューから一部をご紹介します。いつものお
料理の味付けにちょっと加えたり、マヨ
ネーズを油の代わりにするなど、「簡単
にできて美味しい！」と評判は折り紙付
き。
ぜひお試しになり、これからも「あい
シテル」のマヨネーズを末永くご愛顧く
ださい。

新連載
第4回

天童りんごオーナー日記

季節は夏へ。6月3日前回の花摘
みに続いて「摘果(てきか)の作業が
行われ組合員25名が参加しまし
た。花が枯れた後、その根元が膨ら
んで小梅のような実に！今回は更
に密集して枝についている実の中か
ら均等に丸みを帯びている1個を
選んで残し、摘果ハサミで他の実を
切り落としていく作業です。オーナ
ーたちは黙々と摘果をしました。

作業終了後、春先の霜のせいで実
をつけなかった園地を見に移動。生
産者の片桐完一さん・片桐謙二さん
らの案内で、ぼつりぼつりと実をつ
ける無残なさくらんぼや洋梨を見
学しました。あいコープのオーナー
の木のある園地と、僅かな標高の差
や地形の違いで被害の程度が分か
れたそうです。オーナーの木が無事
でよかったと思う一方、農業の厳し
さも実感できた活動日でした。

担当理事 鈴木 真奈美



参加者に残す実の選定を
レクチャーする片桐さん(右)

組織概要

(2023年5月分)

【組合員数】	16,229名
【供給高】	261,803千円
【一人実利用高】	5,442/週
【出資金】	1,348,764千円

お詫び 6月号の組織概要が
「2月分」となっていました。正し
くは「4月分」です。

▼今後の組合員活動にお
ける新型コロナウイルス感
染予防に関する方針を確
認した▼第35回通常総
代会に至る議案書説明
会の進捗を共有しQ&A
の作成について確認した▼
ジョイケア収支報告を承
認した▼役職員理事報酬
審議会報告を承認した▼
シャボン玉フォーラムinみ
やぎの各団体への案内を
承認した▼2023年度
Wa!わあ祭り実行委員会
報告を承認した。

2023年6月6日(火)

理事会議事録抄

●たった数時間の作業でしたが、生産者さんの大変さがわかったので、りんご大切にたくさん食べようと思います。
摘果する量が多くてびっくりしました。(りんごオーナー作業参加者・小6男子の感想)

生協一丸となって取り組む節電

組合員と職員の節電Action報告

今年で9回目となった冬の節電アクション。電力消費量が一番大きい冬に省エネを意識してもらおうと今年も1月～2月に開催しました。昨年から電力料金の高騰もあり多くの組合員が関心を持ったようで、応募総数213件と例年の2倍の応募をいただきました。総節電量は948.25kWh。標準的なご家庭の3カ月分程の電力を削減することができました。できることを少しずつ、みんなであれば大きな節電になりますね！今回、節電目標を書き欄を設けたところ、家族ぐるみで目標を立ててくれたり、思春期のお子様も協力してくれていたり、読んで嬉しくなるレポートがたくさんありました。

同時にあいコープの日の出町センターでも、職員の皆さんが節電節水に取り組んでいます。昨年の総代会で「トイレの蓋がいつも開いている。節電を」と総代さんが発言したのを聞いて、企画製作課の



トイレ壁の呼びかけ

脱原発エネルギーシフト委員会
担当理事 櫻井 洋子

阿部咲良さんが節電企画を思いついたそうです。トイレの各個室に貼ってあった「便座の蓋を閉めて」の張り紙を、可愛く、より目を引くパステルデザインにして注意を促しています。さらに洗面台の近くには節水を呼びかける張り紙も。3月からは朝礼で「日々の行動一つから節水、節電を心がける」とみんなで唱和し意識を高めているそうです。結果、昨年同月比で6%の節電、8%の節水に成功！素晴らしいですね。

今年の節電アクションは生協全体で取り組むことができました。これからもっと仲間を増やしていきたいですね。

編集後記

6月半ば、組合員参加で取り組む大郷の無農薬交流田に、17名の大学生（農学部）を招き入れました。目下、冬水田んぼ（冬季湛水）を目指している交流田の生きもの調査と一緒に行ってください。あいコープの募集に応じた彼らからは「自然が好きだ！」「という気持ち溢れていて、「都会の若者なのに、虫や泥、嫌じゃないの？」という間抜けな質問を「とんでもない！」と一蹴。どう調査していくかも彼らが主体的に進め始め、親世代の私は目を細めるばかりなものでした。今後が楽しみです。

理事 鈴木 真奈美

私のオススメ商品



私がおすすめするのは第一糖業さんの「花見糖」です。この砂糖は鹿児島・沖縄のサトウキビを使用した荒糖です。実際に使用してみると分りますが、一般的な砂糖より

も後味がスツキリとしている為、口に残るくどさが無く他の素材の味を邪魔しません。私は煮物やお菓子作り等、様々な用途に使用しています。普段使っている砂糖を花見糖に切り替えて頂ければいつもの味が格段においしくなります。ぜひご利用いただければと思います。

事業部 供給課 佐藤 怜

Present

アンケートプレゼント
機関紙あいあいあいにご意見感想をお寄せください。抽選で3名の方にあいシテル商品をプレゼント！右のQRからどうぞ。



ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員全員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔・出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

ジョイケア利用状況 (2023年5月分)

ささえあい(保障)	0件	◆集団託児	
たすけあい(ケア)	20件	利用延べ人数	5名
集団託児	0件	◆ケア時間	
慶弔・出産・お見舞いBOX	36件		70時間
電話相談窓口	0件		
計	66件		

組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは
ジョイケア事務局へ



0120-50-7277 平日 9:00～17:00

年金相談・・・8/8(火) 社会保険労務士 清野道子氏

13:30～15:30

法律相談・・・8/8(火)、8/23(水) 弁護士 倉林千枝子氏

13:30～15:30

傾聴・・・8/8(火) NPO法人仙台傾聴の会 森山英子氏

10:00～12:00

子ども相談・・・8/22(火) 宮城教育大学教授 菅井裕行氏

10:00～12:00

介護相談(ケアプランセンター木もれび 山崎彰子氏)は相談希望日をうかがいます。

▼随時受付可能です。各相談窓口前週の金曜日までに予約して下さい。▼金曜日が祝日の場合は直前の平日の受付時間まで受付します。▼予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。



●去年、木オニコ系農薬不使用りんごを初めて頂きまして、おいしさに感動しました。畑に行きたいのはやまやまなのですが、なかなか時間がとれないのでせめても食卓で応援コースを申込ました。(トライりんご生産者へのメッセージより)

てづくり いいね

色々なものが「できあい」であふれる時代
だけど あえて自分で作ってみる
意外と簡単 コスパもいい上 とても美味しい
そんな「てづくり」生活に 食育コンダクターがご案内します

食育コンダクターとは・・・NPO 法人とうほく食育実践協会が育成・認定する「食の伝道師」。
約1年間、養成講座を受講して食の根幹を学んだメンバーが、食育の現場で活躍している。

暑い時期に冷蔵庫にあったら嬉しい冷たいおやつ。
コクがあるパスちゃん牛乳で、甘さを控えミルクの風味が
際立つ牛乳かんの作り方を教えて頂きました。

材料（プリン型3～4個分）

パスちゃん牛乳 200cc 水 100cc
粉寒天2g 花見糖(またはグラニュー糖)20g
ゆで小豆やフルーツのシロップ漬けなどお好みの量

- ① パスちゃん牛乳200ccは、作り始める
ときに計量カップなどに入れて室温に
置く(少しだけ温度を常温に近くする)。
- ② 型にする容器の底にゆで小豆やフル
ーツを敷く。
- ③ 水100cc、粉寒天2gを小鍋に入れ、
混ぜながら中火で温める。ふつふつ
と煮えてきたら弱火にし、混ぜながら
1～2 分沸騰させる。花見糖20gを入
れ、とけたら火を止める
- ④ パスちゃん牛乳200ccを注ぎながら
混ぜる。(少しずつ固まり始めます)
- ⑤ 手早く型に流し込み(気泡が気になる場
合は、ザルなどで濾す)、冷蔵庫で20分
～30分ほど冷やす。
- ⑥ 型から外し、皿に盛り付ける。(隙間に
スプーンなどを入れると簡単に外れます)



あいシテレ 放牧パスちゃん牛乳

山形県の牧場で草を食
み、のびのび育った牛のお
乳。75℃15秒と、一般
的な牛乳より低温で殺菌さ
れることで、生乳本来の風味
が活きています。



今月の食育コンダクター
小林 禎子さん
牛乳の比率高めで作って
みました。小豆やフルーツの
甘みを考慮して、花見糖は
控えめにしたので、もし牛
乳かんだけを作るなら花見
糖は少し増やすといいと思
います。

Calendar

7/13

脱原発委員会主催講座
※ あなたの省エネ再エネ応援します
宮城県・仙台市の温暖化対策

場所／ あいコープ 日の出野センター大会議室
時間／ 10:00～12:00
参加費／ 無料



お申込みは
イベントカレンダーから

9/30

シャボン玉フォーラム in みやぎ
「好きだっちゃ せつけん! のそいてみつべし東北の海」
～3.11 震災後の海からのメッセージ～

場所／ 仙台市福祉プラザ 時間／13:00～17:00
基調講演/水中写真家 鍵井靖章氏/ほか、展示・パネルディスカッション

女川原発差し止め訴訟 原告の訴え棄却される

女川原発2号機について、石巻市の住民17人
が「事故時の避難計画に実効性がない」として、
東北電力に対し再稼働の差し止めを求めていた
裁判。あいコープも様々な場面で応援、支援を
して来ましたが、仙台地裁は5月24日、原告側の
訴えを棄却しました。「事故が起きる可能性を原告側
が立証できない」というのが棄却の理由のひとつ。

福島第一原発の事故は、何よりも「事故が起き
る現実」を証明してい
るのではないでしょ
うか。原告は6月5日付
で、すでに控訴してい
ます。



女川原発が止まってから
4498 日目
(2023年7月3日現在)